

# 学校 習志野市教育委員会 教育だより

習志野の教育ここにあり！



<http://www.city.narashino.lg.jp/kosodate/kyoiku/gakkyodayori.html>

習志野市鷺沼 2-1-1

電話 047-451-1151 (代表)

平成31年1月7日発行 NO. 101

## 「好きですふるさと 習志野」の教育



習志野市教育委員会教育長

小熊 隆



新年おめでとうございます。平成30年12月27日付けで教育長を拝命しました 小熊 隆と申します。どうぞよろしくお願いたします。

私は新規採用教員として本市に配属となって以来、市内の幼稚園から小学校、中学校の現場で教育に携わらせていただきました。また、この12月まで千葉県教育庁葛南教育事務所に勤務し、葛南地区5市の学校訪問や生涯学習の取組に参加させていただく中で、改めて習志野市の教育の素晴らしさを再認識することができました。

一方で、生涯学習や学校教育をさらに魅力のある営みとすることや、子供たち一人ひとりのニーズに応えることのできる教育の実現など、本市が取り組まなければならない課題のあることも事実です。そういったことから、歴史と伝統ある「習志野教育」の発展のために全力で取り組む覚悟です。

さて、「文教住宅都市憲章」「小さなまちの大きな教育」を掲げる習志野市では、教育基本計画において「豊かな人間性と優れた創造性を育む 習志野の人づくり」を目標とし、「情熱あふれる教育」「夢のある学び」「地域との連携」をキーワードに、生涯学習と学校教育を展開してまいりました。今の習志野の教育があるのは、市民の皆様や多くの先輩方の御努力の賜物であり、引き続き、これらを強く推進してまいります。

また、私は「物事は好きになることが上達(進展)の近道である」と考えています。ですから、習志野市歌の歌詞にもあるように、「好きですふるさと 習志野」の実現のため、習志野市に関わる全ての方に「習志野教育」の良さを知ってもらい、それを広める教育施策が必要となります。

幸いにも本市には、公民館やスポーツ施設、青少年健全育成などにおける生涯学習や学校での教育活動など、魅力ある取組が数多くあります。また、それらが県内のみならず、全国に誇れるものが多く、周囲から注目される都市であることは明らかです。「現状維持は退化」「前進しなければ周りからおいていかれるだけ」という言葉があるように、今までの伝統を受け継ぎ、新たな視点で教育を展開していくことで、本市の教育を発展させてまいります。御支援の程、何卒よろしくお願申し上げます。

### 第101号 目次

- ★習志野の教育 ここにあり! … 2~4
- ★特別支援学級 公開研究会の授業紹介… 5
- ★文化芸術・習志野高校 … 6

# 国語

# 習志野の教育 ここにあり

## 大久保小学校

主体的・対話的で深い学びを通して思考力を育む国語学習  
～文学を中心とした課題追究を通して読みを深める授業づくり～

【成果】問いの生成過程を明らかにすることができた。キーワードとなる言葉や文に着目して、関連付けながら考える読み方が身についた。

【展望】一教材の読み深めから、それを表現に発展させたり、他教材への読みに活かしたりする単元構成を練っていく。



## 第一中学校

伝え合う力を育てる  
指導法の工夫

～実践的な表現力の育成を目指して～

【成果】千国研では古文の学習にタブレットを活用し、登場人物の心情や筆者の考えを班で話し合うことができた。

【展望】他教科の話し合い活動にもタブレット等のICT機器の活用を推進していく。



研究主任に聞きました。今年度の研究主題と現時点での【成果】と【展望】です。児童生徒の習う志を育て、生涯にわたる学びの礎とするよう、一丸となって、さらなる高みを目指しましょう。



# 生活・社会

## 大久保東小学校

思考し表現する力を育む  
国語科学習

～主体的な読みにつながる指導の工夫～

【成果】文章を読んで生まれた「問い」を追究する単元構成によって、児童が高い意欲をもち、主体的に言葉や文に着目して読むことができた。

【展望】「問い」の分類と段階に応じた「問い」の精選を行っていく。



## 谷津小学校

自分とのつながりを拓く

生活科・社会科の授業の創造

【成果】自分と生活と社会事象との関連性につながる教材開発と問題解決学習が充実するための単元構成は、児童に有効だった。

【展望】協働解決への手立てやまとめの充実を図り、社会参画を意識した授業の手立てや発問の精選を考えていく。



## 谷津南小学校

どの子どもも輝く生活科・  
社会科学習の追究

～子どもの思考を深める「対話」～

【成果】児童が対話への意欲や必要感をもち、主体的に学習するための「問い」や「場」の設定、手立てを探ることができた。

【展望】必要感をもった対話をより明確に捉え、対話を通して思考を深める方法を明らかにしていく。



# 生活・理科

## 実籾小学校

子ども一人ひとりの思いを  
大切にしたい授業のあり方

【成果】本時における見方・考え方を明確にすることによって教師も子どもも視点が定まり、理解を深めることができた。

【展望】見方・考え方を精査し、授業の質を高めていくとともに、子どもの理解を深めていく。



## 鷺沼小学校

知的好奇心あふれる

授業の創造

【成果】3つの手立てを設定し単元を構成していくことで、見通しをもって問題解決に取り組もうとする姿が多くみられ、知的好奇心の高まりが感じられた。

【展望】手立てがどれほど効果的であるか、評価方法は適切であるか、研究結果を分析し検討していく。



## 東習志野小学校

生き生きと活動する  
子供の学びを育てる

【成果】自然事象との対話、自分との対話、友達との対話と分類して単元計画の中に位置付けたことで、気付きの質や追究する力を高めることに繋がった。

【展望】子供が問いを設定し、解決の道筋を対話によって見つけ出す授業構想を練っていく。



## 算数



### 袖ヶ浦西小学校 考える楽しさにつながる 学び合い

【成果】素材の吟味や、導入を工夫することによって、子どもたちが教材と向き合うことができた。  
【展望】考えを伝え、共有する場づくりのための手立てを探っていく。



### 藤崎小学校 自ら学び共に育つ 算数学習のあり方

～子どもの思考を生かした授業実践～  
【成果】単元を通して育てたい力を意識して、素材や素材提示の工夫をすることで、自分の考えを表現しようとする児童が多くなることがわかった。  
【展望】「考えをよりよくする」という視点をもっと具体的にすることがある。

### 実花小学校 子どもが主体的に学ぶ 算数科学習のあり方

～学びの連続性を目指した指導～  
【成果】効果的な場面で振り返ることによって学びの連続性が生まれた。思考の道具である「算数アイテム」の活用で、既習を活用する習慣が身に付いた。  
【展望】「算数アイテム」を精選し、日常的に活用できるようにすることで、児童のものにしていく。



## 体育

### 津田沼小学校 知識・技能・体力向上を促す 体育学習

～関わりを通じた基礎体力の向上～  
【成果】関わりを深めることで、自分の課題や練習方法がより明確になり、「できた喜び」を味わわせることができた。  
【展望】関わりをさらに深めていくための手段を考察していく必要がある。



### 屋敷小学校 健やかな心と体を育むために ～学び合いを通して～

【成果】「言葉がけ・動きの型・見合い」に視点をあてることで、表現では「表現する楽しさ」、鉄棒では「できる喜び」を感じられた。  
【展望】発達段階ごとに題材や技、言葉がけについて整理、系統立てて授業を構成していく。



### 秋津小学校 自ら学び、運動に取り組もう とする力を育む体育学習

【成果】基礎技能の定着を基に、個人が思考・判断したことを友達と共有することで、主体的な学びが実践された。  
【展望】各種目の教材開発を積極的に進め、学習内容と系統性を明らかにしていく。



## 道徳

### 香澄小学校 心が響き合う道徳の時間 ～道徳的価値を自分のこと として捉えることのできる 考え議論する道徳の授業をめざして～

【成果】道徳的価値について思考を深めさせるために学習課題を設定して指導することや構造的板書の有効性が実証できた。  
【展望】課題や発問の内容の吟味も含めた、授業形態に関する検証を行っていく必要がある。



## 英語

### 向山小学校 英語学習の基礎となる力を 定着させる指導方法の工夫

【成果】知識・技能を定着させるための方法が明らかになってきた。活用場面の類別化も進んでいる。  
【展望】今後も知識・技能を定着させる指導方法を工夫し、明らかにするとともにダイアログの系統をもとに活用場面を整理していく。



## 防災

### 袖ヶ浦東小学校 命の大切さを考える 防災教育

【成果】単元開発により、児童の防災意識が高まった。また短時間の安全指導を繰り返し行うことで、実践力が向上した。  
【展望】防災カリキュラムを継続実施し、安全意識や対処行動力の深化を図っていく。



注記：第一中には全教科、袖ヶ浦東小には国語科の研究主題があり、実籾小・鷺沼小・東習志野小では生活科・理科それぞれに研究副主題がありますが、紙面の関係上、掲載しておりません。

# 全教科



## 第二中学校 豊かな心をもち、 自ら学ぶ生徒の育成 ～リフレクションを用いて表現力を 高める授業の工夫～

【成果】リフレクションを取り入れた授業を意識することで表現力のみならず思考力の向上が図れた。  
【展望】「主体的・対話的で深い学び」につながるリフレクションの在り方を研究していく。

## 第三中学校 主体的に学ぶ力を伸ばす 指導の探究 ～「主体的・対話的で深い学び」 の視点からの授業改善～

【成果】新学習指導要領やカリキュラム・マネジメントを見据えた「主体的・対話的で深い学び」の学校としての方向性に見通しが持てるようになってきた。  
【展望】生徒の思考を深める問いの設定や授業形態、学習活動に関する研究を進めていく。

## 第四中学校 学習意欲を引き出す工夫 ～生徒が主体の参加体験型 授業から、深い学びへ～

【成果】今年度新しく明石要一先生を3年間の講師にお招きして研究を深めた。全国学力・学習状況調査で全国平均にかなり近づくことができた。  
【展望】今年度合同訪問で指導を受けたことなどを、今後に生かして向上していきたい。



## 第五中学校 思考力・判断力・表現力 を高める学習指導法の研究 ～自ら課題を見だし、解決する能力 を高める指導法の工夫～

【成果】各教科のテーマを意識した学習シーンを位置付けることにより、課題発見・解決能力の向上が図れた。  
【展望】「可視化」を重視した授業の充実により、「主体的な学び」をより一層促していく。

## 第六中学校 活力ある生徒を育てる 授業の創造 ～生徒指導の機能を生かして～

【成果】授業研究・全体研修会・学力向上委員会の取り組みによって、六中の課題が明確になり教員間で共有された。  
【展望】3年後の公開研究会を考え、研究課題、研究プロセスを共有し、伝承していきたい。

## 第七中学校 発問を工夫し、思考を促す 学習指導のあり方 ～語り合い・学び合い・響き合い を通して～

【成果】生徒の意欲や考えを引き出せるような発問を教科などで検討して、授業に生かしていくことができた。また、授業の中に話し合い活動を取り入れることが多くなった。  
【展望】学び合いを通じてさらにコミュニケーション能力を向上できるように啓発していきたい。



今年度は、16校の小学校と2校の中学校で公開研究会が行われました。さて、「習志野の教育」は長きにわたって脈々と現在まで引き継がれ、今日に至っております。教科研究ひとすじに、中には50年以上の歴史をもつ学校もあり、このような「習志野の教育」を見に、今年度も全国からたくさんの方々に足を運んでいただきました。感謝申し上げます。「習志野の教育を全国レベルに！」という当時の気運を大切にしながら、新しい時代を生き抜く児童生徒に必要な力を身に付けさせられるよう、我々は益々、研究に勤しまねばなりません。

新学習指導要領には、歴代の指導要領で初めて前文が設けられ、「社会に開かれた教育課程」を理念として掲げられました。これは、生涯にわたって能動的に学び続ける市民を育て、予測困難な時代において、よりよい行動を生み出していける社会の担い手の育成を願っているものです。つまり、社会の変化が加速度を増す中で、これから学んでいく子供たちが社会と自分、社会と問いのつながりを意識し、気付かせるものであったり、児童生徒が「何をすべきかを知る」ように気付かせるようなものであったりという学びを重視していると言えます。

新しい時代には、常に問いをもちながら、社会の問題を自分の問題としてとらえ、事象に対して「向かう」ことのできる児童生徒を育成してまいります。



### 「体 育」

導入としてポップコーンを作りました。その後、体全体を使って、ポップコーンがはじける様子を表現しています！

屋敷小学校

### 「算 数」

視覚支援の活用や買物の疑似体験を取り入れました。値段をよく見て、お菓子を選び、お金の計算をしました！

袖ヶ浦西小学校



## 特別支援学級 公開研究会の授業を紹介します！



### 「生活単元学習」

手順表を提示しました。紙バッグ完成までの見通しをもち、制作活動に集中して取り組みました！

鷺沼小学校



### 「体 育」

マットを斜面に配置したり、教師と一緒に運動したりしました。児童の「やってみよう！」という意欲がよく表れていました！

津田沼小学校



## 文化芸術による子供の育成事業

—芸術家の派遣事業—

袖ヶ浦東小学校の2年生がバルーンアートに挑戦！希望ある未来に向かって飛んでいけ！！  
文化芸術の体験が、心豊かな人間を育てます。



【文化庁委託事業】

NPO 子ども劇場  
千葉県センター



## 日本の伝統文化を学ぶ

—門松づくり—

袖ヶ浦公民館では地域の人から教わるミニ門松づくりが24回目を数えました。第三中学校の生徒や袖ヶ浦西小学校、袖ヶ浦東小学校の児童が参加しました。大きい門松は近隣の学校などに飾られています。



竹が口をあけて、笑っているように見えます。



## 習志野高校

**有権者となる皆さんへ**  
**(主権者教育・出前授業)**



平成28年から選挙権年齢等が満18歳以上に引き下げられました。それに伴い、主権者教育の一環として、11月27日(火)に習志野市選挙管理委員会の方を講師にお招きし、第2学年の生徒を対象に、「有権者となる皆さんへ」と題して、出前授業を実施しました。当日は、御来賓として宮本市長並びに田中市議会議長をお迎えしました。それぞれ被選挙人の立場から、市長からは市長の役割や仕事について、市議会議長には議会や議員の役割や仕事についてのお話とともに、選挙がいかに大切であるかを御講演いただきました。お二人の御講演の後、講師の方からは、選挙の重要性や公職選挙法について等をクイズ形式で具体的に分かりやすくお話しいただきました。高校2年生の中には、来年4月から選挙権を得る者もいます。有権者になるということは、選挙等を通じて政治に参加する権利を得ることです。他人任せにするのではなく、選挙等を通じて積極的に政治に参加して欲しいと思います。

**編集後記** 『傍目八目教育百話』(三上文一著)や学校教育だより(No. 39)を読み返したり、吉村博与元校長先生から当時のお話を伺ったりして、かつての習志野の教育に思いを馳せました。植松榮人前教育長、12年間の任期、本当にお疲れさまでした。習志野にかけたこれまでの熱き思いを引き継いでいきたいと思ひます。